

『間質性肺炎における胸郭運動異常の検討（後向き観察研究）』

に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『間質性肺炎における胸郭運動異常の検討（後向き観察研究）』という研究を行っています。胸膜肺実質線維弾性症（以下、PPFE）は、我が国で世界に先駆けて報告され、上葉の線維化と胸膜肥厚が主な特徴である稀な間質性肺炎です。これまで有効な治療法がなく、病気の原因や成り立ちの解明が求められています。そのため、PPFEの実態を検討することは、今後の同様の患者様の診断、治療を考える際に有用と考えています。この研究は、病気の原因について、胸郭運動異常が関わっているのではないかとの考えのもと、画像検査結果を中心に、解析を行います。さらに、その他の間質性肺炎の患者さんについても比較検討します。

なお、この調査は、ヘルシンキ宣言に基づいた倫理原則を遵守し、「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令5年3月27日一部改正、文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示）及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」（令和5年4月17日一部改訂）に従って実施しております。

さらに、この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

<調査の対象となる患者さま>

対象：2017年1月から2023年12月末日までに当院で診断した間質性肺炎の患者様のうち、吸気呼気CTが撮影されている患者様。

<調査方法>

患者様のカルテ等の記録やレントゲン、CT画像をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

<試料、情報利用の拒否について>

この研究の対象として試料、情報の利用をお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）はご連絡ください。ただし、結果の解析、公開をすでに行なっている場合や、研究結果が学会や学術雑誌で発表された後での使用中止はできません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター

難治性肺疾患研究部長

滝本 宜之

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153